

プログラム

一般演題(16:00～16:40)

- ① *Hp* 除菌後の内視鏡像の変化を検討し得た自己免疫性胃炎の2症例
小寺 徹先生 (宇治徳洲会病院)
- ② *Hp* 除菌後に過形成性ポリープの急速な進展が診断契機となった早期 AIG
那須眞示先生 (井野辺病院)
- ③ ピロリ感染胃炎による修飾の影響と病期についての視点から見た自己免疫性胃炎の自験例の報告
伊原隆史先生 (伊原内科医院)
- ④ 内視鏡的萎縮度と臨床像・病理像について
隅田ちひろ先生 (湘南鎌倉総合病院 消化器病センター)

特別講演(17:00～18:00)

- 自己免疫性胃炎の病期—残存胃底腺による評価の有用性と問題点—
寺尾 秀一 先生 (加古川中央市民病院)
- 自己免疫性胃炎の内視鏡病期と PG などの臨床的マーカーの相関について
丸山保彦先生 (藤枝市立総合病院)
- 血清ガストリン、ペプシノゲンによる自己免疫性胃炎の診断予測について
古田 隆久先生 (ふるたクリニック)

総合ディスカッション (18:00～19:00)

提示いただいた症例の内視鏡像・組織像をふまえて、自己免疫性胃炎の診断の問題点や内視鏡的病期、ピロリ感染の影響などについてディスカッション予定です。

◇問合せ先

参加ご希望の方は下記までご連絡ください。

社会医療法人石川記念会 HITO 病院 消化器内科

綾木麻紀 E-mail mkmnb1979@yahoo.co.jp